

令和8年用柿病害虫防除基準

●農薬を使用する際は、農薬の使用基準を遵守し、適正に使用してください。

●農薬の使用基準は、農薬容器のラベルに記載されています。使用に際しては、ラベルをよく読んで確認してください。

●この基準は、令和7年10月1日現在の農薬登録内容に基づき作成しています。登録内容に変更が生じた時は、変更された内容に準じて使用してください。

散布時期	適用病害虫	薬剤名及び濃度 (水100ℓ当たり薬量)	収穫前 使用日数	総使用 回数	散布量	注意事項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴
① 休眠期 (発芽直前まで)	カイガラムシ類	1. 水 (98ℓ)			300ℓ	1. ハーベストオイル50倍に替えて、スプレー オイル50倍(発芽前、-)を使用しても よい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ハーベストオイル 50倍(2ℓ)	発芽前	-			
② 5月中旬	アザミウマ類	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)			400ℓ	1. ハマキムシ類の発生が多い園では、さらに ダイアジノン水和剤34劇1,000倍(45日前 まで、4回以内)を散布する。 2. カキクダアザミウマの被害葉は見つけ次 第摘み取り土中深く埋める。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. モスピラン顆粒水溶剤劇 2,000倍(50g)	前日まで	3回以内			
③ 開花直前 (5月下旬)	落葉そ病 炭	1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍(10mℓ)			500ℓ	アザミウマ重点防除期なので、 防除を徹底する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
		2. ペンコゼブ水和剤 800倍(125g)	45日前 まで	2回以内			
	アザミウマ類 カメムシ類	3. テッパン液剤 2,000倍(50mℓ)	前日まで	2回以内			
④ 落葉病重 満開期 (6月10日頃)	うどんこ病 落葉そ病 炭	1. オンリーワンフロアブル 2,000倍(50mℓ)	前日まで	3回以内	500ℓ	1. すす点病の多い園では、園内の通風採光 を図るとともに、6~7月の薬剤散布を 徹底する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
	カメムシ類 チャノキイロアザミウマ	2. テルスター10フロアブル劇 3,000倍(33mℓ)	3日前 まで	2回以内		落葉病特別対策	
⑤ 6月下旬	落葉そ病 うどんこ病 すす点病	1. アミスター10フロアブル 1,000倍(100mℓ)	7日前 まで	3回以内	500ℓ	例年、落葉病が多発する園地や荒廃園の 隣接園では6月下旬までICボルドー 412 50倍(-, -)を使用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
	アザミウマ類 カキノヘタムシガ	2. ダントツ水溶剤 4,000倍(25g)	7日前 まで	3回以内		1. アミスター10フロアブルに替えて、ナリ AWDG 2,000倍(前日まで、2回以内) を使用してもよい。	

柿施肥基準 (成木: 10a 当り)

作型・目標収量	肥料名	施肥量 (kg)	施肥時期	N	P	K
平核無 2,000kg	フレッシュフルーツ有機40	100kg	9月下旬	10.0	4.0	2.0

耕種的防除

全般	1. 適切な肥培管理等により、樹勢を健全に保つ。 2. 園地の角など薬剤が到達しにくい部分や混み合っている部分の枝はせん除し、薬液が隅々まで到達しやすいようにする。 3. 病害虫は樹上の粗皮や芽の付近に越冬するものが多いので、効率防除を図るため、休眠期防除前に粗皮削りを行なう。
落葉病	1. 落葉を集め、土中深く埋める。
カキクダアザミウマ	1. 被害葉(葉巻など)は、見つけしだい摘み取り適切に処分する。
すす点病	1. 園地周辺の通風採光を図るとともに、枝葉が混みあわないように整枝・剪定を行う。

散布時期	適用病害虫	薬剤名及び濃度 (水100ℓ当たり薬量)	収穫前 使用日数	総使用 回数	散布量	注意事項 (収穫前使用日数、総使用回数)	防除履歴
⑥ 7月上旬		1. 展着剤(アビオン-E) 1,000倍 (100mℓ)			500ℓ	1. 前年チャノキイロアザミウマ・カキクダ アザミウマ・カメムシ類・ハマキムシ類 が多発した園では、ジェイエース水溶剤 に替えて、ロディー水和剤(1,500倍 (7 日前まで、3回以内) を散布する。	散布日 月 日 散布量 ℓ
	落葉病 炭素病 そんこん病	2. ドキリンフロアブル 800倍 (125mℓ)	14日前 まで	5回以内			
	カキクダアザミウマ チャノキイロアザミウマ	3. ジェイエース水溶剤 1,500倍 (66g)	45日前 まで	2回以内			
⑦ 7月中旬		1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍 (10mℓ)			500ℓ	1. 高温時の散布は薬害の危険があるので、 気温の低い時に散布する。 2. 降雨が多い場合、果実の軟化防止対策と して以降の防除にストピットⅡ500倍を加 用してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
	落葉病 炭素病 そんこん病	2. スコア顆粒水和剤 3,000倍 (33g)	前日まで	3回以内			
	ハマキムシ類 (アザミウマ類)	3. ダイアジノン水和剤34劇 1,000倍 (100g)	45日前 まで	4回以内			
⑧ 7月下旬	落葉病 炭素病 そんこん病	1. ナリアWDG 2,000倍 (50g)	前日まで	2回以内	500ℓ		散布日 月 日 散布量 ℓ
	チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類	2. ロディー水和剤(1,500倍 (66g)	7日前 まで	3回以内			
⑨ 8月上旬～ 中旬		1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍 (10mℓ)			500ℓ		散布日 月 日 散布量 ℓ
	落葉病 炭素病 そんこん病	2. ベルクート水和剤 1,000倍 (100g)	14日前 まで	3回以内			
	アザミウマ類	3. ダントツ水溶剤 4,000倍 (25g)	7日前 まで	3回以内			
⑩ 8月下旬～ 9月上旬		1. 展着剤(ハイテンパワー) 10,000倍 (10mℓ)			500ℓ	1. 前年、落葉病やアザミウマ類が多発した 園地では、本防除を必ず実施する。 2. 高温時の散布は薬害の危険があるので、 気温が低い時に散布する。 3. 降雨が続く場合は、オーソサイド水和剤 80 1,000倍 (7日前まで、5回以内) を追 加で散布してもよい。	散布日 月 日 散布量 ℓ
	落葉病 炭素病 そんこん病	2. ストライド顆粒水和剤 3,000倍 (33g)	14日前 まで	4回以内			
	チャノキイロアザミウマ カキクダアザミウマ カメムシ類 ハマキムシ類	3. ロディー水和剤(1,500倍 (66g)	7日前 まで	3回以内			